

Efficiency of bioelectric impedance analysis as an evaluation method of skeletal muscle mass after gastrectomy

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-04-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 齋藤, 元伸 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032134

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2992 号	氏 名	齋藤 元伸
審 査 委 員 会	主 査 教 授	岡崎 賢	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>本論文は、胃癌切除後の栄養状態を判断する新しい方法としての生体電気インピーダンス法の妥当性を検証したものであり、非侵襲であり、臨床上的有用性を示した。従来血液検査での血清アルブミン値だけで判断していたが、血清アルブミン値は CT での骨格筋インデックスとも相関しなかったことから有用でなく、今回の生体電気インピーダンス法の方が相関することから、本検査が患者の骨格筋量と関連する良い方法と示された。日常診療に役立つ良い研究であり、学位授与の値するものと判断した。</p>			
本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]			